

8/4 藻場を荒らすウニを高級食材に

大分うにファーム・初生産報告

大分うにファームの関係者が市役所を訪れ、三河市長にうにの初生産を報告しました。同社は、今年4月に国東町富来浦に工場を完成させ、海の藻場を荒らすムラサキウニを採取して水槽で育て、殻付きウニとして出荷する事業を行っています。栗林正秀社長は「ムラサキウニを高級食材に変えることで、国東市の1次産業を元気にしていきたいです」と意気込んでいました。



7/31 ダンスや書道でグラウンドがにぎわう

武蔵楽交

旧武蔵東小学校のグラウンドで「武蔵楽交」が行われました。会場は飲食や雑貨など多くの出店でにぎわい、ダンスや国東高校書道部のパフォーマンスの披露もありました。国東高校3年生で書道部部長の田川^{れな}怜奈さんは「今日で引退となります。コロナ禍で活動の機会が失われ、苦しい日々でしたが、最後に多くの方々に作品を見てもらえて良かったです」と充実した表情を見せてくれました。



7/22 竹灯籠でコロナ禍に明るさを

みんなの想火 in 大分国東

浄泉寺(安岐町下山口)で「みんなの想火in大分国東」が行われ、市内外より多くの人々が訪れて約600本の竹明かりを楽しみました。これは「47都道府県で一斉に竹灯籠を点灯させることで、コロナ禍で暗い世界に明るさを取り戻す」ことを目的に行われた全国的なイベントで、県内でも全18市町村で開催されたものです。国東市では浄泉寺が会場となりました。



7/17 森を育て水源を守る

両子の森プロジェクト10周年

豊かな森を育てて水源を守る活動「両子の森プロジェクト」に市内外から約70人が参加し、両子寺や走水観音の付近に植樹した木々の周りの草刈りを行いました。同プロジェクト代表の寺田豪淳さん(両子寺法嗣)は「皆さんのおかげで活動10周年を迎えました。植樹した木々が大きく成長し、緑の森が生まれているのを見て、とても感慨深いです」と話していました。



8/20 国見町の吉武さん夫妻が林野庁長官賞を受賞

第68回全国乾椎茸品評会

国見町岐部で乾しいたけ栽培を行っている吉武和久さん・澄枝さん夫妻が市役所を訪れ、「第68回全国乾椎茸品評会」で林野庁長官賞を受賞したことを、三河市長に報告しました。吉武さん夫妻は「今年は出来が良く、賞を取りたいと思っていたので、受賞の知らせを聞いてとてもうれしかったです。来年も受賞できるように頑張ります」と受賞の喜びを語っていました。



8/13 思い出深い高校生活を振り返って

国東高校双国校・学校施設見学会

国東高校双国校の閉校記念事業として、「学校施設見学会」が行われました。これは、卒業生を招いて思い出深い高校生活を振り返ってもらうことを目的に行われたものです。見学会に参加した古森好文さん(国見町岐部)は「校舎や卒業アルバムを見て、懐かしい気持ちになりました。残念な思いもありますが、閉校前に学校を見ることができて良かったです」と話していました。



7/29 大分県代表として全国へ

国東高校・全国大会出場報告

国東高校の柔道部、ウエイトリフティング部、将棋部の生徒4名が市役所を訪れ、全国大会への出場を三河市長に報告しました。出場者は次の通りです。(敬称略、写真左より)

- ▼柔道男子73kg級・小仲周太郎(3年生)
- ▼柔道男子81kg級・芦刈仙里(3年生)
- ▼ウエイトリフティング女子49kg級・川野萌菜(2年生)
- ▼将棋男子個人・岡寄^{よしはる}禎遠(3年生)



7/25 ペットボトルロケットきれいに飛んだ

天球館・コスミックカレッジ

梅園の里・天球館で「天球館・コスミックカレッジ」が行われ、市内外から約50人の親子連れが参加しました。参加者は、関崎海星館(大分市佐賀関)の川田政昭さんと清水清美さんの指導のもと、天体模型の工作やペットボトルロケットの実験に挑戦。安岐町出身の母親と参加した山岡直登さん(大分市・小学1年生)は「ペットボトルロケットがきれいに飛んでうれしかったです」と喜んでいました。

